

中国のテレマティクスサービス市場 プロバイダ競合で勝ち残るのは誰か

中国において適切なテレマティクス提携パートナーを選択するための総合ガイド

ユーザーのコネクティビティに対する需要拡大をうけ、中国では約 20 社にも及ぶ自動車メーカーが OE テレマティクスサービスを今後 3 年以内に開始する予定あるいはその計画中です。しかしながら中国での事業展開に際し適切なパートナーを選択するにあたっては、コスト的・戦略的課題が存在します。SBD の最新レポート「中国のテレマティクスサービス市場—プロバイダ競合で勝ち残るのは誰か」では、中国特有のテレマティクスバリューチェーンについて解説するとともに、適切なパートナーを選択し複雑な中国市場で成功を収めるために欠かせない情報を提供します。

本書では中国のメーカーやテレマティクスプレーヤー各社からの聞き取り調査を基に、中国国内および外資系の自動車メーカーと China Unicom、Navinfo、95190 といったテレマティクスサービスプロバイダ (TSP) との提携関係について解説しています。また中国で台頭する様々な TSP のケーススタディや、それぞれの長所・短所の分析が盛り込まれており、提携戦略の策定にお役立て頂けます。更に法規制、ライセンス要件、地理的状況、消費者志向といった中国テレマティクス市場特有の要件を検証し、同国でのテレマティクス導入に付随するリスクを最小化するための提言を行っています。



本書では下記の内容を取り上げています。

- 主要な自動車メーカーが提供するテレマティクスサービスのバリューチェーン
- 中国特有の複雑なテレマティクスバリューチェーン、各 TSP タイプの長所と短所
- 主要自動車メーカーと各国内 TSP との現提携関係
- 中国テレマティクス市場への参入にあたっての提言

本書の詳細については、下記までお問い合わせください。

SBD ジャパン

postbox@sbdjapan.co.jp / 052 253 6201



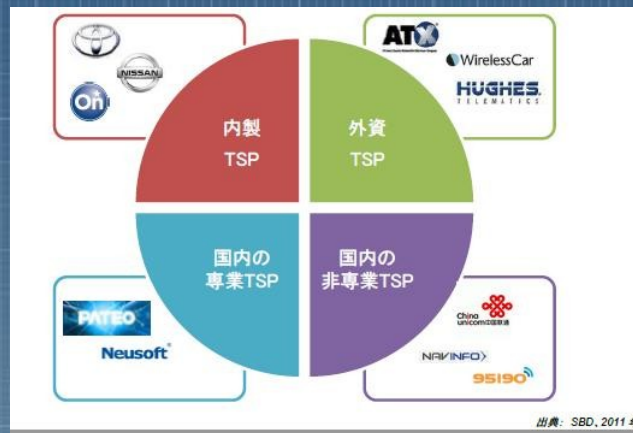
》 適切な現地企業との提携関係が中国での市場展開成功への鍵

中国において OE テレマティクスサービスの立ち上げを検討している車両メーカー各社にとって、テレマティクスバリューチェーンにおける適切なパートナーの選択は容易なことではありません。とりわけ、車と他のサービスプロバイダ（コールセンタなど）の間で行われるデータの収集と配信を調整するという重要な役割を果たすテレマティクスサービスプロバイダ（TSP）の選択には様々な検討要素が伴います。

外資 TSP 各社は、車両メーカーへのサービス提供の実績はありますが、必要なライセンスの取得に苦慮しています。一方中国国内企業は、ライセンスの取得は可能であるものの、自動車業界へのテレマティクスサービス提供実績が殆ど無いという状況です。GM やトヨタのような早期参入企業は内製ソリューションを開発し、こうした課題に対処しています。しかしながら、このアプローチはコスト高であり全ての車両メーカーに適しているわけではないうえ、中国政府が規制や許認可制度をより強化し始めていることからさらに状況は困難となっています。

中国ではすでに多くの車両メーカーがテレマティクスサービス導入に向け 引き合いを出し始めていますが、それに対し TSP として オファーを返してくる中国国内企業の数とそのオファーの多様さにメーカーは驚かされています。車両メーカー各社（独立系国内メーカーおよび外資系ジョイントベンチャーを含む）は、テレマティクスバリューチェーンの構築に際し、パートナーとなり得る企業の強みと弱みを理解しておく必要があります。

中国で台頭する TSP のタイプ



中国では強力な国内 TSP が出現しつつあると同時に、国内パートナー企業との提携によって参入を狙う外資 TSP も現れています。中国テレマティクス市場の展開の特徴として、新たなタイプの TSP の市場参入、つまり、バリューチェーンの他の分野の企業（モバイルネットワークオペレータ、コンテンツプロバイダ、コールセンタオペレータ等）の TSP 部門への参入があります。こうした新しいタイプの国内 TSP が成功するには、外資 TSP との提携関係を通じた IT 専門知識の取得、中国政府当局との関係性を活かしたライセンスの獲得、そして国内外の自動車業界への適応といった幾つかの条件が揃う必要があります。

本書で取り上げる課題：

- 中国でのテレマティクス開始にあたってどの企業と提携すればよいか？
- 中国でサービスを展開している各 TSP の長所と短所は？
- 中国でテレマティクスサービス展開を計画している自動車メーカーは？その提携先は？

SBD の基本理念

SBD は 1995 年の設立以来、自動車業界向け技術動向調査レポートやエンドユーザー調査といったサービスをグローバルに展開し、お客様の戦略構築をサポートしています。

SBD の技術エキスパートチームが、お客様の状況を正確に把握し、各国の市場ニーズ・技術要件の理解と費用対効果の高い製品開発を支援します。

本書の著者について



スティーブン・ロングデン: ITS & テレマティクス スペシャリスト

ウエストミンスター大学で交通計画・経営管理の修士号を取得後、「The Intelligent Highway」誌の編集者となる。SBD では、自動車テレマティクスとナビゲーションの調査分析を担当。これまでに様々なITS アプリケーションの調査に携わり、中国を始めとする新興市場ならびにeCall などのプログラムのエキスパートとして活躍している。欧州とアジアの会議やセミナーでは優秀なスピーカーとして表彰されている。

本書のご購入形態

※下記は税抜価格です

レポート名	日本語版 製本+PDF
中国のテレマティクスサービス市場 - プロバイダ競合で勝ち残るのは誰か (SBD/TEL/3730)	¥225,000

お問合せ先

SBD ジャパン

担当: 近藤 真子

Eメール: mkondo@sbdjapan.co.jp

Tel: 052-253-6203

関連レポート



中国のテレマティクス総合ガイド

中国の自動車業界が成長するにつれ、車内での接続型サービスに対するユーザーニーズは高まっており、テレマティクスサービスの導入がますます重要となります。本書は、中国市場で提供されているテレマティクスサービスの総覧、その実績とエンドユーザー満足度、価格構成についてのインタラクティブなテクニカルガイドです。

レポート番号: SBD/TEL/2870



中国のテレマティクス関連法規制の壁を乗り越えるには

OE テレマティクスサービスは中国で成長期を迎えています。海外の自動車メーカーは、政府の干渉や、厳しい認可制度への対応に苦慮しています。本書では中国のテレマティクスに関する政府関与の現状と今後について、ライセンス要件、法規制、政府関与の方向付けに重要な役割を果たす関連団体について焦点を当てながら検証するとともに、中国におけるテレマティクス展開を成功させるための提言を行っています。

レポート番号: SBD/TEL/2850



中国エンドユーザー調査: スマートフォン及び車内でのアプリ利用に対する意識

中国のスマートフォン市場は急速に成長しており、自動車業界では車載アプリベースのインフォテイメントの今後の発展に注目が集まっています。中国におけるユーザーの志向を正確に把握するため、SBD ではエンドユーザー調査を行いました。本書ではスマートフォン所有者のアプリの車内利用に対する関心度について分析を行っています。

レポート番号: SBD/TEL/3020